

令和4年度

事業報告書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日



ひとりひとりの小さなお金。
そのお金に「誰かの助けになりたい」という
気持ちがこもって十人、百人、千人と集まれば、
大きな力に変わります。
赤い羽根は、小さなことをしています。
小さな活動をたくさん、何十年と続けています。
つまり、赤い羽根は、大きなことをしています。

意志あるお金、募金のチカラ。
赤い羽根共同募金



社会福祉法人 千葉県共同募金会



総括概要

千葉県における赤い羽根共同募金は、平成7年度をピークに減少傾向が続き、さらに令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなど非常に厳しい状況となっている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策に努めながら、募金額減少に歯止めをかけ、少しでも新型コロナ感染症前と同様の活動に戻るよう市町村支会等との情報共有と連携を図り、「70年答申」¹に基づく取り組みを推進するとともに以下の5項目を重点に事業を実施した。

- 1 共同募金運動への理解と参加の促進
- 2 共同募金会の機能強化
- 3 多様な募金事業の展開
- 4 災害対応力の強化
- 5 赤い羽根ポスト・コロナ(新型感染症)社会に向けた福祉活動応援キャンペーン

多くの県民の皆様や企業、関係団体等にご理解とご協力をいただいた結果、募金総額は5億6,927万6,262円となり、前年度実績に比し937万8,596円の減額(1.6%の減額)だった。これに令和3年度助成の戻入金を合わせた5億9,360万3,970円を財源として、地域からの孤立防止をはじめ、支援を必要とする障がい者や高齢者、子どもたちのために活動している施設・団体等に対し助成を行った。

共同募金以外の助成としては、中央共同募金会と連携して赤い羽根全国キャンペーンを実施した。

その事業内容について以下のとおり報告する。

I 共同募金運動の推進

令和4年度の共同募金運動は、厚生労働省告示にもとづき令和4年10月1日から翌年3月31日までの6か月間にわたり実施した。募金目標額及び助成計画については、配分委員会(7月1日)で承認の後、第241回理事会(7月11日)及び第216回評議員会(7月21日書面表決)において正式決定された。

共同募金の実績				単位：円
区分	令和4年度	令和3年度	増減	前年度比(%)
一般募金	364,466,440	374,687,874	△10,221,434	△2.7
市町村歳末助けあい	186,134,119	179,645,230	6,488,889	3.6
NHK歳末助けあい	18,675,703	24,321,754	△5,646,051	△23.2
合計	569,276,262	578,654,858	△9,378,596	△1.6
目標額	630,000,000	630,000,000		
達成率	90.4%	91.8%		

¹ 70年答申：中央共同募金会が外部有識者による企画・推進委員会を平成26年に設置し、平成28年度に運動創設70年を迎えるにあたり、共同募金運動のあり方や地域福祉における共同募金の役割等について検討し平成28年2月に出された答申 正式題名「参加と協働による『新たな助け合い』の創造～共同募金における運動性の再生～」

(1) 戸別募金

新型コロナウイルス感染症予防対策として中央共同募金会が作成した衛生ガイドラインを遵守した活動を行った。

共同募金が地域に還元されていることを分かりやすく住民に伝える自治会・町内会向けのチラシや活動報告書等を作成し、市町村支会から直接自治会等に郵送して募金を依頼した。

(2) 街頭募金

令和3年度までは、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、街頭募金を中止した支会が多くあったが、令和4年度は、新しい生活様式に対応し、参加人数を減らす・音声アナウンスを放送し声掛けを控える・スタンド式募金箱を使用し接触を控えるなど、衛生ガイドラインを遵守した方法で街頭募金を再開した支会が多くあった。

また、非接触型の募金手法として、一部支会では aupay を街頭募金に活用した。

(3) 学校募金

- ① 教育関係団体（千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉県小学校長会、千葉県中学校長会、千葉県高等学校長協会、千葉県私学教育振興財団、千葉県教職員組合、千葉市教職員組合）の後援をいただき、県下の幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援学校等において「赤い羽根をつける運動」を実施した。
- ② 募金が社会にどのように役立っているかについて理解を進めるため壁新聞(A3判)、子供向けパンフレットを全学級に配布した。
- ③ 福祉教育に力を入れている社協と連携し、学校を通じて子どもに赤い羽根共同募金の浸透を図った。

(4) 法人・職域募金

- ① 県共募、各支会から企業や団体へチラシや啓発資材などDMを送付し、協力を依頼した。
- ② 県共募では、県・県関係団体・県域団体・企業等に法人・職域募金の協力依頼を行った。支会では、市町村を中心に市町村関係団体・市町村域団体・企業等への法人・職域募金の協力依頼を行った。

(5) スポーツチームとの協働による募金

各スポーツチームの地元支会と協力して以下のとおり募金活動を行った。

- ① プロ野球「千葉ロッテマリーンズ」と協働し、選手の写真入りポスターを作成し、千葉都市モノレールや北総電鉄の駅構内やZOZO マリンスタジアム・市内の図書館や商業施設などで掲示した。
- ② サッカーJリーグ「ジェフユナイテッド市原・千葉」と協働し選手の写真入りポスターを作成し、各支会に配布した。

コラボポスターデザインやチームのロゴを使用した啓発資材を作成し、10月16日、3月25日の試合会場（フクダ電子アリーナ）において募金活動を行った。また、10月31日から11月6日の期間には選手の私物による赤い羽根チャリティー

オークションを行った。2021年度から開始した『クルマをおくろう PROJECT』は2年目として継続した。

③ バスケットボールBリーグ「千葉ジェッツふなばし」と協働し、選手の写真入り入りポスターを作成し、各支会に配布した。また、毎年作成している書き下ろしピンバッジのほか、今年度は新たにエコバッグの資材を作成し、船橋アリーナでの公式戦会場において複数回募金活動を行った。

④ フットサルFリーグ「バルドラール浦安」と協働し、選手の写真入り入りポスターを作成し、各支会に配布した。

メッセージ動画の作成を行い、10月29日、12月4日に浦安総合体育館で募金活動を開催した。また12月1日に新浦安駅・舞浜駅にて行った街頭募金に選手やバルドラール浦安バセに所属するコーチや子どもたち・スタッフの皆さまにご参加いただいた。

今年度初めての協働となる赤い羽根チャリティーオークションを開催した。

⑤ 女子サッカーなでしこリーグ「オルカ鴨川FC」と協働し、選手の写真入り入りポスターを作成した。

⑥ サッカーJリーグ「柏レイソル」と協働し、選手の写真入り入りポスター及び啓発動画を作成した。

各スポーツチーム協働ポスター



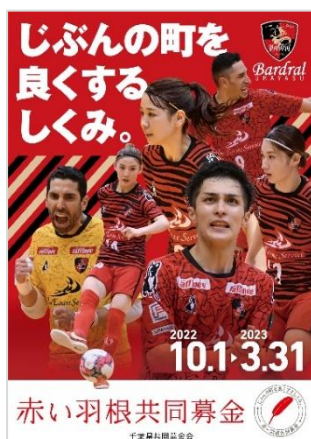
千葉ロッテマリーンズ



ジェフユナイテッド市原・千葉



千葉ジェッツふなばし



バルドラール浦安



オルカ鴨川FC



柏レイソル



オークションバナー

【赤い羽根チャリティーオークション】

- ・ジェフユナイテッド市原・千葉×赤い羽根共同募金会
(令和4年10月31日～11月6日の期間で開催)

選手・スタッフにご協力いただき、選手が使用したユニフォームやシューズをヤフオクに出品しました。

全5品 落札総額は92,350円となりました。

※ヤフオク会則で認められた経費を引いた全額が募金となりました。



オークションポスター

- ・バルドラール浦安×赤い羽根共同募金会
(令和4年12月4日～11日の期間で開催)

選手・スタッフにご協力いただき、選手が使用したユニフォームをヤフオクに出品しました。

全6品 落札総額は54,850円となりました。

※ヤフオク会則で認められた経費を引いた全額が募金となりました。

(6) イベントでの募金

日付	場所	項目
9月2日 ～9月4日	幕張メッセ	初音ミクのイベント「マジカルミライ2022」に、北海道共同募金会のご協力をいただき、共同募金のブースを設置し啓発活動を行った。(募金総額 2,519,741円)

(7) その他募金

- ① 寄付者が選択して支援できる6テーマ(新型コロナウイルス対策、子ども、子育て、高齢者、障がい者、被災者・被災地)に対し用途選択募金を実施し、募金協力があった。(計499件 3,318,078円)
- ② 赤い羽根協力店舗や行政機関等で通年または募金期間中に募金箱設置等の協力があった。イオン株式会社「イオン赤い羽根募金」(10月)では従業員や来客者から街頭募金を含む募金協力があった。(計33店 132,149円、イオンタワー228,550円)
- ③ 助成先団体が主催する講演会や地域行事等に募金ブースを設けた。
- ④ 清涼飲料を購入すると一定額が募金となる寄付金付き清涼飲料水自販機の設置を推進した。(計61台 1,215,625円)
- ⑤ 中央共同募金会の「ふるさとサポート募金」による協力があった。(計119件 1,192,472円)
- ⑥ 中央共同募金会を通じて、企業等からの寄付金を受け入れた。(計27件 4,053,882円)

- ⑦ JRA(日本中央競馬会)からの寄付金による「地域に密着した多様な生活支援活動を応援する助成」として中央共同募金会から JRA (4,300,000 円)を受け入れた。
- ⑧ 神奈川県共同募金会からの呼びかけで、6 都府県(神奈川・東京・埼玉・愛知・大阪・千葉)の連携事業として株式会社 FRAGRANCY から 62,085 円を受け入れた。



II 広報活動の充実

県民の理解と共感が得られる共同募金運動とするため、関係機関や団体の協力を得て、次のとおり広報活動を展開した。

1 全般的取組

広報・資材・募金活動・助成事業等のあらゆる機会を通じ、共同募金の目的や募金から助成・成果までの流れを分かりやすく具体的に伝え、住民の理解を得るように努めた。特に、共同募金の多くが地域に還元され、地域福祉の推進に貢献していることを住民に分かりやすく伝えるように努めた。

2 共同募金運動発足行事

感染症対策を行ったうえで3年ぶりに発足式を実施した。令和4年度共同募金運動開始の10月1日に「そごう千葉店入り口前広場」において、千葉県知事(代理：健康福祉部部長)、千葉市(代理：保健福祉局長)、千葉県社会福祉協議会会長、千葉県共同募金会千葉市支会会長、ちばポートアンバサダー、ANA グランドスタッフ、そごう千葉店店長、JR 東日本千葉駅副駅長にご参加いただいた。また、県内各地で市町村支会が主催して発足行事を実施した。



3 計画公告・結果公告

本会定款第 39 条の規定により千葉日報に募金開始及び実施結果の公告を行った。
(募金開始：令和 4 年 10 月 1 日、実施結果：令和 5 年 4 月 21 日)

4 報道機関への情報提供

- ① NHK 千葉放送局、千葉テレビ放送、ベイエフエムに対し、中央共同募金会制作のテレビ用放映素材及びラジオ用放送素材を提供して広報キャンペーンの協力要請をした。また、千葉県を通じて千葉テレビ、千葉日報、ベイエフエムにテーマ選択募金の CM を依頼した。
- ② 県内報道機関（放送局及び新聞各社）に対し、共同募金及び災害義援金の募集等に係る情報を提供した。

5 インターネットの活用

- ① 中央共同募金会の情報提供システム、赤い羽根データベース「はねっと」(<https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>)を活用し、募金の詳細な使いみちについて情報提供した。
- ② 県共募ホームページ(<https://www.akaihane-chiba.jp/>)に募金・助成等の共同募金に係る基本的な情報のほか、助成申請・災害支援・イベント情報等について情報提供した。
- ③ フェイスブック「赤い羽根ちば」(<https://www.facebook.com/akaihane-chiba/>)を使い、各種イベントの告知や情報発信に努めた。また、支会の実施するイベント情報を PR した。
- ④ 当会で取り扱っている商業用キャラクターコラボの資材や当会マスコットキャラクターびわびよのオリジナルグッズを活用した「グッズ募金」については、寄付者が事務局に来局しなくても寄付ができるよう、県共募ホームページに専用ページを開設した。

6 募金資材・広報資材の作成・活用

- ① 募金の結果や使いみちなどを掲載したチラシを作成し、戸別募金、法人・職域募金等で活用した。NHK 歳末チラシを作成して職域募金等で積極的に活用した。
- ② 子ども達に学校募金の使いみちが分かるよう、壁新聞 (B2 判) を小・中・高等学校に配布するほか、キャラクター募金箱・壁新聞 (A3 判) を全学級に配布した。
- ③ 人気商業用キャラクターとコラボした資材を活用し、若年層の募金への関心を高めた。
- ④ スポーツチームと協働したオリジナル資材を作成し、試合会場での募金のお礼として贈呈した。
- ⑤ 本会のマスコットキャラクター「びわびよ」を使用したピンバッジや広報資材の作成、フェイスブック「赤い羽根ちば」での情報発信を行った。



「令和 4 年度ピンバッジ」

7 交通機関等による広報の実施

- ① 県内の私鉄(新京成電鉄・北総鉄道・東葉高速鉄道、千葉都市モノレール)の車内及び駅構内に運動期間中、ポスターを掲出した。
- ② JR 千葉駅近くの大型街頭ビジョンで赤い羽根の CM 放映を行った。
- ③ JR 京葉線海浜幕張駅前の大型ビジョン(2 か所)にて、中央共同募金会制作のテレビ用放映素材を運動期間中放送した。
- ④ 県内公立図書館へ運動期間中、ポスター・壁新聞を掲出した。

8 助成先による広報の強化

- ① 助成先からの感謝の気持ち「ありがとうメッセージ」を「はねっと」や各種広報資材に掲載して紹介した。また、助成事業・助成物品・助成先発行広報紙、助成先ホームページ等、あらゆる機会を通じて募金への感謝の気持ちを住民に伝えるように努めた。
- ② 千葉県社会福祉協議会(県社協)の広報誌「福祉ちば」に、赤い羽根共同募金会の募金や助成の情報を掲載した。

III 助成

県民の理解と共感が得られる共同募金運動とするため、助成計画及び助成額の決定について配分委員会による審議を経て、理事会・評議員会において決定し、次のとおり助成を行った。

※文中における『助成した』は令和4年度に事業実施。『助成決定した』は令和5年度に事業実施。

1 一般募金・広域助成

- ① 令和4年度一般募金・広域助成は、支会募金実績(広域分)、県共募募金実績等1億4,933万9,148円を福祉施設・福祉団体・NPO法人等の整備費や事業費等として助成決定した。
- ② 整備費は、福祉施設・県域にわたって活動する団体が整備する機器・備品等の購入費等の費用の他、福祉施設が施設機能を活用して実施する地域福祉サービスに必要な整備費を助成対象とした。
- ③ 事業費は、県域にわたって活動する団体及び政令指定都市において活動する団体の事業に係る経費を助成対象とした。
- ④ 用途選択募金として、6テーマ(新型コロナウイルス対策、子ども、子育て、高齢者、障害者、被災者・被災地)について活動する11団体に助成決定した。
- ⑤ 即応型助成として、ウクライナからの避難民の生活支援事業を実施する1団体に助成した。(100万円)
- ⑥ 神奈川県共同募金会と5都府県共募の協働による「企業・団体からの用途指定寄付による助成」として、県内乳児院1施設に対し、入居児の生活に関わる備品整備について助成した。(62,085円)
- ⑦ 4月13日にZoom会議で助成申請説明会を実施した。また、コロナ禍の影響で当日出席できない団体からの求めに応じて個別説明を行った。

2 一般募金・地域助成

令和4年度一般募金から計2億3,945万5,000円を各市町村社協を通じ地域福祉事業費として助成決定した。

3 市町村歳末たすけあい助成

県社協との共催で歳末たすけあい運動を実施し「令和4年度歳末たすけあい運動実施要項」に基づき、各市町村社協を通じ計1億8,613万4,119円を助成した。

4 NHK歳末たすけあい助成

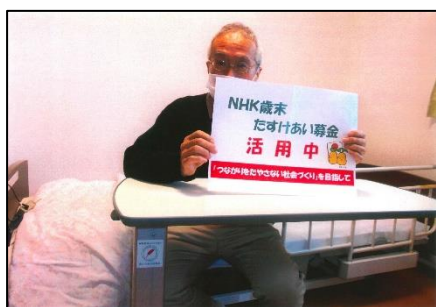
「令和4年度(第72回)NHK歳末たすけあい実施要綱」に基づき、福祉団体・福祉施設への助成を通じ、第1次助成として6件、600万円を施設の車両や高額の備品整備に、第2次助成として61件、1,112万8,000円を利用者の生活のために助成し、合計67件、1,712万8,000円を助成した。

5 その他の助成

中央共同募金会を通じて受け入れた物品寄付(清涼飲料水(アサヒ飲料))を寄付者の希望する業種種別等へ助成した。(助成額26,880円相当/助成先2団体)



子育て支援事業



福祉施設への備品整備



令和4年度歳末たすけあいポスター

IV 組織運営

1 会の運営

(1) 理事会

3回開催し、上程議案の全てを可決した。

① 第240回理事会(令和4年5月12日 書面表決)

- ・令和3年度事業報告の承認について
- ・令和3年度会計決算の承認について
- ・配分委員の選任について
- ・評議員選任候補者の推薦について
- ・評議員選任・解任委員会の招集について
- ・評議員選任候補者の推薦について
- ・令和4年度定時評議員会の開催について

[報告事項]

- ・会長及び業務執行理事の職務執行状況報告
- ・令和3年度全国及び千葉県共同募金実績(3月末)について
- ・赤い羽根新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーンの実施について



② 第241回理事会(令和4年7月11日)

- ・常務理事の選任
- ・令和4年度共同募金目標額・助成計画(案)について
- ・令和3年度一般募金助成事業<翌年度(令和4年度)助成>実施内容の変更(案)について
- ・令和3年度一般募金即応型助成計画<翌年度(令和4年度)助成>(案)について
- ・共同募金配分要領<地域助成>(案)について
- ・千葉県共同募金会顕彰規程に基づく令和4年度被顕彰者の決定について
- ・評議員選任候補者の推薦について
- ・配分委員会の欠員委員の選任について
- ・評議員選任・解任委員会の欠員委員の選任について
- ・評議員選任・解任委員会の招集について
- ・第216回評議員会の招集について

[報告事項]

- ・会長及び業務執行理事の職務執行状況報告
- ・広域助成事業の見直しの検討について

③ 第242回理事会(令和5年3月15日)

- ・副会長の選任
- ・令和4年度一般募金 企業・団体からの使途指定寄付による助成
＜当年度(令和4年度)助成＞(案)について
- ・赤い羽根 ポスト・コロナ(新型コロナウイルス感染症)社会に向けた福祉活動応援キャンペーン
地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材(つながりワーカー)養成および
実践活動助成(案)について

- ・令和4年度共同募金実績額・助成(案)について
- ・令和4年度資金収支補正予算(案)について
- ・令和5年度事業計画(案)について
- ・令和5年度資金収支予算(案)について
- ・共同募金配分規程(案)について
- ・共同募金配分要領(案)について
- ・NHK歳末たすけあい助成要綱の一部改正(案)について
- ・第217回評議員会の招集について
- ・定款の一部改正(案)について
- ・事務局職員就業規則の一部改正(案)について

[報告事項]

- ・千葉県共同募金会給与規程の一部改正について
- ・会長及び業務執行理事の職務執行状況
- ・共同募金配分要領<地域助成>について
- ・令和5年度赤い羽根共同募金・NHK歳末たすけあい<第一次>助成申請書作成の手引きについて

(2) 監事監査

令和4年5月7日に定款第11条第1項の規定により監事監査を実施した。

[監査結果]事業内容及び会計決算は適法にして正確であった。

(3) 評議員会

3回開催し、上程議案の全てを可決した。

① 第215回評議員会(令和4年5月30日)

- ・令和3年度事業報告の承認について
- ・令和3年度会計決算の承認について
- ・理事の選任について
- ・配分委員の選任について



[報告事項]

- ・令和3年度全国及び千葉県共同募金実績(3月末)について
- ・赤い羽根ポスト・コロナ(新型コロナウイルス)社会に向けた福祉活動応援キャンペーンの実施について

② 第216回評議員会(令和4年7月21日 書面表決)

- ・令和4年度共同募金目標額・助成計画書(案)について
- ・令和3年度一般募金助成事業<翌年度(令和4年度)助成>実施内容の変更(案)について
- ・令和3年度一般募金即応型助成計画<翌年度(令和4年度)助成>(案)について
- ・共同募金配分要領<地域助成>(案)について
- ・理事の選任について
- ・配分委員会の欠員委員の選任について

[報告事項]

- ・広域助成事業の見直しの検討について

③ 第217回評議員会(令和5年3月23日 書面表決)

- ・令和4年度一般募金 企業・団体からの使途指定寄付による助成
＜当年度(令和4年度)助成＞(案)について
- ・赤い羽根 ポスト・コロナ(新型コロナウイルス)社会に向けた福祉活動応援キャンペーン
地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材(つながりワーカー)養成および
実践活動助成(案)について
- ・令和4年度共同募金実績額・助成(案)について
- ・令和4年度資金収支補正予算(案)について
- ・令和5年度事業計画(案)について
- ・令和5年度資金収支予算(案)について
- ・理事の選任について
- ・共同募金配分規程(案)について
- ・共同募金配分要領(案)について
- ・NHK 歳末たすけあい助成要綱の一部改正(案)について
- ・定款の一部改正(案)について
- ・事務局職員就業規則の一部改正(案)について

[報告事項]

- ・共同募金配分要領＜地域助成＞について
- ・令和5年度赤い羽根共同募金・NHK 歳末たすけあい＜第一次＞助成
申請書作成の手引きについて

(4) 評議員選任・解任委員会

2回開催し、上程議案の全てを可決した。

- ① 第1回 令和4年5月13日 書面表決
 - ② 第2回 令和4年7月11日
- ・評議員の選任について

(5) 配分委員会

5回開催し、上程議案の全てを可決した。

- ① 第1回配分委員会(令和4年5月25日 書面表決)
 - ・令和4年度赤い羽根 新型コロナウイルス感染下の福祉活動応援全国キャンペーン『地域に密着した多様な支援活動応援プロジェクト』に係る助成(案)について
 - ・「赤い羽根共同募金」テーマ選択助成被災者・被災地支援の助成(案)について
- ② 第2回配分委員会(令和4年7月1日)
 - ・令和4年度共同募金目標額・助成計画書(案)について
 - ・令和4年度一般募金助成事業＜翌年度(令和4年度)助成＞実施内容の変更(案)について

- ・令和3年度一般募金即応型助成計画<翌年度(令和4年度)助成>(案)について
- ・共同募金配分要領<地域助成>(案)について

③ 第3回配分委員会(令和4年12月7日)

- ・令和4年度NHK歳末たすけあい助成(案)について
- ・共同募金配分規程(案)について
- ・共同募金配分要領(案)について
- ・NHK歳末たすけあい助成要綱の一部改正(案)について

④ 第4回配分委員会(令和5年3月3日)

- ・令和4年度一般募金 企業・団体からの用途指定寄付による助成<当年度(令和4年度)助成>(案)について
- ・赤い羽根 ポスト・コロナ(新型コロナウイルス)社会に向けた福祉活動応援キャンペーン 地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材(つながりワーカー)養成および実践活動助成(案)について
- ・令和4年度共同募金実績額・助成(案)について

⑤ 第5回配分委員会(令和5年3月20日 書面表決)

- ・令和4年度赤い羽根 新型コロナウイルス感染下の福祉活動応援キャンペーン 『地域に密着した多様な支援活動応援プロジェクト』に係る助成(案)について

2 支会との連絡調整

(1) 支会事務局長会議

3回開催(WEB会議)し、下記の議題について報告・説明し、意見交換を行った。

① 臨時支会事務局長会議(令和4年4月22日)

- ・地域配分(事務費)の算定方法の見直し(案)について
[報告事項]
- ・地域助成で行う「赤い羽根推進事業」について

② 第1回支会事務局長会議(令和4年7月8日)

- ・令和4年度共同募金目標額・助成計画書(案)について
- ・共同募金助成要領<地域助成>(案)について
- ・令和4年度共同募金運動に対する顕彰について
- ・広域助成事業の見直しの検討について
- ・令和4年度支会別訪問調査及びブロック別会議

③ 第2回支会事務局長会議(令和5年3月6日開催)

- ・令和4年度共同募金実績額・助成(案)について
- ・令和5年度事業計画(案)について
[報告事項]
- ・支会訪問及びブロック別会議について

(2) 支会事務担当者向け会議 ※すべて Web 会議

2 回開催し、下記の議題について報告・説明し、意見交換等を行った。

① 第 1 回支会事務担当者会議(令和 4 年 4 月 15 日開催)

- ・ 令和 3 年度共同募金実績と助成について
- ・ 令和 4 年度事業計画について
- ・ 令和 4 年度共同募金運動および実施助成事業について
- ・ 資材に関する事務処理等について
- ・ 使途選択助成(被災者・被災地支援)について
- ・ 赤い羽根全国キャンペーンについて
- ・ 令和 3 年度の活動事例の共有(酒々井町支会、流山市支会、富里市支会)

※また、同日に新任担当者を対象に共同募金の仕組みと市町村支会の役割について学ぶ研修を行った。

② 第 2 回支会事務担当者会議(令和 4 年 7 月 25 日開催)

- ・ 令和 4 年度共同募金目標額・助成計画(案)について
- ・ 募金をお願いする時の注意(コロナ禍の募金活動・衛生ガイドライン等について)
- ・ 令和 4 年度共同募金運動募金資材について
- ・ 共同募金助成要領<地域助成>について
- ・ 広域助成事業の見直しの検討について
- ・ 支会別訪問及びブロック別会議の開催について
- ・ 担当者勉強会の開催について
- ・ 共同募金の業務について(グループワーク)



(3) 共同募金会担当者勉強会

2 回開催し、下記の内容について参加者同士で意見交換等を行った。

① 第 1 回担当者勉強会

令和 4 年 8 月 31 日 テーマ『寄付者を増やし、協力者をつなぐ「営業力」研修』

② 第 2 回担当者勉強会

令和 4 年 12 月 14 日 テーマ『ケーススタディ～みんなで考えよう～』

※令和 4 年度首都圏共同募金会勉強会の千葉県開催と同時開催

(4) 支会ブロック別会議(7 ブロック) ※すべて Web 会議

令和 5 年 1 月 16 日から 2 月 21 日の間で実施

- ・ 今年度の募金運動について
- ・ 今後のブロック別会議で協議したい内容について

(5) 市町村支会訪問調査(18 支会)

令和 5 年 1 月 19 日から 2 月 13 日の間で実施

- ・ 共同募金会支会状況について(広報、委員会移行、助成、資材、顕彰、事務費等)
- ・ 令和 4 年度募金活動について(赤い羽根募金(一般)、市町村歳末)

3 事務局

(1) 中央共同募金会の研修等へ参加

- ・ 都道府県共同募金会職員研修会
(令和4年4月21日～22日ハイブリッド開催、11月17日～18日開催)
- ・ 第11回赤い羽根全国ミーティング(令和4年7月5日～6日ハイブリッド開催)
- ・ 都道府県共同募金会総務・会計担当者会議(令和4年8月4日オンライン開催)
- ・ 都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議
(令和4年7月14日～15日ハイブリッド開催、令和5年2月10日オンライン開催)
- ・ 都道府県共同募金会第1回オンラインサロン テーマ 遺贈寄付
(令和4年11月1日オンライン開催)

(2) 他都県共同募金会との研究協議会へ参加

- ・ 首都圏共同募金会情報交換会(令和4年7月20日オンライン開催)
- ・ 首都圏共同募金会職員勉強会
 - 東京都(令和4年10月31日開催)
 - 神奈川県(令和4年12月8日開催)
 - 千葉県(令和4年12月14日開催)
 - 埼玉県(令和5年1月16日開催)

V 顕彰の実施

1 共同募金運動に対する顕彰

本会顕彰規程ならびに関係機関の顕彰規程に基づき、募金運動に功績のあった個人・団体・地区を顕彰した。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、規模を縮小し千葉県社会福祉大会(令和4年11月9日、青葉の森公園芸術文化ホール)において表彰を行った。

また、特に秀でた者に対しては全国社会福祉大会(令和4年12月13日、浅草公会堂)において表彰を行った。

令和4年度の大口寄付者は、県共募または各支会から県共募会長感謝状の贈呈をし、特に秀でた者に対しては関係機関へ推薦し感謝状の伝達を行った。



千葉県社会福祉大会

(1) 紺綬褒章	大口寄付者	1件	寄付が500万円以上の個人
(2) 厚生労働大臣表彰状	奉仕功労者	1件	奉仕者として特に顕著な功績がある個人
	奉仕功労団体	1件	奉仕者として特に顕著な功績がある団体 ・八千代市赤十字奉仕団(八千代市)
(3) 中央共同募金会 会長表彰状	奉仕功労者	5件	奉仕者として顕著な功績がある個人
	従事功労者	1件	運動推進に従事して顕著な功績がある個人
	優良地区・団体	3件	募金活動が得に優秀な地区・団体 ・小山町会(松戸市) ・清和区民生委員児童委員協議会(君津市) ・日本ボーイスカウト東金第1団(東金市)

(4) 中央共同募金会 会長感謝状	大口寄付者	7件	3年間で寄付が60万円以上の団体 ・ヒゲタ醤油株式会社(銚子市) ・松戸市はつらつクラブ連合会(松戸市) ・ちば興銀「小さな親切」運動推進本部(千葉市) ・千葉トヨタ自動車株式会社(千葉市) ・「小さな親切」運動ちばぎん支部(千葉市) ・生命保険協会千葉県協会(千葉市) ・京葉銀行小さな親切運動推進本部(千葉市)
(5) 千葉県知事表彰状	運動奉仕者	1件	20年以上奉仕者として顕著な功績がある個人
		1件	20年以上奉仕者として顕著な功績がある団体 ・習志野市民生委員児童委員協議会(習志野市)
(6) 千葉県共同募金会 会長表彰状	奉仕功労者	24件	10年以上奉仕者として功績がある個人
	従事功労者	2件	10年以上運動推進に従事して功労がある個人
	優良地区・団体	82件	5年以上募金活動が優秀な地区・団体
	優良支会	1件	募金活動が最も優秀な支会
(7) 千葉県共同募金会 会長感謝状	大口寄付者	12件	寄付が3万円以上の個人または 5年継続し寄付が10万円以上の個人
		30件	10万円以上の団体または 5年継続し寄付が30万円以上の団体
	奉仕功労者	73件	5年以上奉仕者として功績がある個人
	優良地区・団体	20件	募金活動が優秀な地区・団体

VI 共同募金以外の寄付金及び助成

1 共同募金以外の寄付金の受け入れ

中央共同募金会を通じて受け入れた寄付金を、寄付者の希望する業種種別等へ助成した。(寄付件数2件:寄付額174,000円相当/助成先3団体:助成額150,000円相当/受託費24,000円)

2 「村上しずエ福祉基金」による助成

在宅身体障害者及び県内からのハンセン病療養所入所者への見舞金品贈呈事業として、助成を実施した。(264名・計703,520円)

3 車両競技公益資金記念財団への協力

中央共同募金会と連携し、高齢者、障害者等の支援を目的とするボランティア活動に対する助成は推薦(3件)し、助成が決定(3件653,900円)された。

また、保育所等の施設整備助成は推薦(2件)し、助成が決定(2件6,930,000円)された。

4 「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」による助成

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、景気の悪化や感染症対策による経済状況の変化により、生活に困窮する人が増加している。令和4年度もこれに対応するため、中央共同募金会では全国共同募金会と共に赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン『地域に密着した多様な支援活動応援プロジェクト』を実施。千葉県では、子どもたち、生活困窮者及び障がい者等への支援活動を行う団体に対して、4件、252万1,000円の助成を行った。(助成財源2,700,000円/受託費300,000円)

5 赤い羽根 ポストコロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン

中央共同募金会では、新型コロナウイルス感染症の影響下における、地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材(つながりワーカー)を地域に増やしていくことを目的として、『地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材(つながりワーカー)養成および実践活動助成』を実施。千葉県では市町村社会福祉協議会を含む団体に対して、950,000円の助成を決定した。



吃音者支援



自殺対策研修



子どもの居場所づくり

Ⅶ 災害時の被災者支援

1 災害見舞金の贈呈

災害見舞金規程に基づいて、県内で発生した災害の被災者延べ198件(全焼133件・半焼37件・半壊4件・床上浸水1件・死亡18件・重傷9件)に対し、計1,608,000円の見舞金を贈呈した。

2 災害たすけあい義援金の募集

① 令和4年度までに全国で発生した次に掲げる大規模災害について、支会の協力を得て義援金を募集し、被災県の各共同募金会に送金した。

募集团体	義援金の名称	取扱金額(円)
熊本県共同募金会	熊本県南豪雨義援金	1,872
中央共同募金会	平成30年7月豪雨災害義援金	4,181
中央共同募金会	令和3年大雨災害義援金	59,904
福島県共同募金会	令和4年3月福島県沖地震災害義援金	22,776
静岡県共同募金会	令和4年台風第15号災害静岡県義援金	22,776
中央共同募金会	令和4年8月大雨災害義援金	143,622
合計		262,355

※本会を通じて義援金を各県に送金したものの集計。(令和5年3月31日現在)

3 準備金制度

社会福祉法第 118 条及び本会災害支援制度運営要綱に基づき、大規模災害時の災害ボランティア支援等に備え準備金の積み立てを行う。

なお、積み立て時期については、運動期間が 3 月 31 日までとなっており、昨年度までは 3 月末に概算額で積み立てを行っていたが、今年度から募金額確定後に積み立てを行うよう期間の変更を行った。

* 令和 4 年度募金総額の約 3%、17,078,000 円を準備金として令和 5 年度に積み立てることとした。(災害等準備金総額 : 53,058,000 円)

4 使途選択募金「被災者・被災地支援」の実施

使途選択募金にて東日本大震災の被災者支援事業の他、令和元年台風災害を受け災害時におけるボランティア養成セミナー事業に助成を行った。

(助成先 1 団体 / 助成額 100,000 円)

